

第四期特定健康診査等実施計画

日本貨物検数健康保険組合

最終更新日：令和 8 年 08 月 12 日

特定健康診査等実施計画（令和6年度～令和11年度）

背景・現状・基本的な考え方【第3期データヘルス計画書 STEP2から自動反映】		
No.1	特定健診受診率は、全体では単一健保目標より低いが、被保険者の受診率はほぼ100%である。被扶養者の実施率は59.3%で単一健保目標より低い。早期に健康リスクを把握し、生活習慣病とその重症化リスクを予防するために、受診率を上げることが必要である。	➔ 被扶養者の受診率を向上させるための対策が必要である。健診の重要性の啓蒙や、被保険者を通じた受診勧奨、被扶養者の健診結果提出促進等を行う。
No.2	特定保健指導の実施率は単一健保目標より低く、約30%である。特に被扶養者が低い。生活習慣病予防・重症化予防のために実施者を増やすことが必要である。	➔ 対象者へ特定保健指導の重要性を啓蒙する、特定保健指導の参加案内の強化、対象者にあった面談・継続支援の検討等を行う。
No.3	・疾病大分類一人当たり医療費で、内分泌・栄養・代謝疾患、循環器疾患が上位にある。 ・2022年度の内臓脂肪症候群該当者の割合は20%以上、特定保健指導対象者の割合は30%以上で、他健保平均より高い。 ・検査数値が基準値外の人に、未受診、または服薬していてもコントロール不良者がいる。	➔ 年齢とともにリスクが高くなるため、若い年代からの予防が必要である。生活習慣改善のための情報提供や教育、特定保健指導の実施率の向上、40歳未満への保健指導、受診勧奨等を行う。
No.4	疾病大分類一人当たり医療費では「新生物」が10位である。年度により増減があるが、他健保平均よりは低い。2022年度は、2022年度は、男性は肺がん、女性は乳がんの医療費が最も高い。	➔ 早期発見・早期治療のために、がん検診の受診率を向上させることが必要である。がん検診受診の必要性を理解するための情報提供や、補助を行っている検診の案内、未受診者への受診勧奨を行う。
No.5	2022年度の婦人科系疾患一人当たり医療費では、被保険者は、「流産」が最も高く、次は「乳房・女性性器疾患」である。	➔ 事業主とのコラボヘルスにより、女性特有の健康課題に対する情報提供や教育を行う。また、相談窓口や情報サイトの案内を行い、女性の体調の変化に関する不安の軽減や体調管理をサポートする。
No.6	疾病大分類別一人当たり医療費では、精神・行動障害は上位にはないが、組合員の不安の軽減・セルフケアのためのサポートが必要と考える。	➔ 事業主とのコラボヘルスにより、メンタルヘルスセルフケアに関する教育・情報提供を行う。また、相談窓口や情報サイトの案内、機関誌等での情報提供等を行い、不安の軽減や体調管理をサポートする。
No.7	ジェネリック医薬品の使用率は、国実施目標には達していないが、順調に推移している。	➔ 新規加入者への、ジェネリック医薬品促進リーフレット配布を継続し、意識を高める。
No.8	他の年代に比べて前期高齢者の医療費が高い。雇用延長が進む中、今後さらなる高騰が懸念される。この年代になる前に、しっかり健康管理を行うこと、また前期高齢者に特化した健康管理の教育を行うことが必要である。	➔ 疾患の早期発見・早期治療、また生活習慣改善のために特定健診・がん検診の受診率の向上、特定保健指導の実施率の向上を目指す。また、この年代に特化した健康管理対策の情報提供を行う。
No.9	喫煙率は減少傾向にあるが、国実施目標には達していない。喫煙者・受動喫煙者の健康を守るために、禁煙対策が必要である。	➔ ・禁煙ポスターの掲示 ・禁煙外来受診費用補助など検討する。
No.10	疾病大分類一人当たり医療費では「呼吸器系疾患」が上位にある。経年的に増加しているが他健保平均よりは低い。血管運動性鼻炎・アレルギー性鼻炎の一人当たり医療費が最も多いが、コロナ禍で流行が抑えられていたインフルエンザの流行が今後懸念される。年代別にみると、10歳未満の医療費が高い。	➔ 免疫力が抵抗している人が増加しているので、ワクチン接種の促進が必要である。
No.11	【健康意識の醸成】健康意識の醸成 ・健診受診、がん検診受診率の向上を目指し、疾病の早期発見・早期治療につなげる。 ・生活習慣病やその他の疾病に関する知識を増やし、疾病予防につなげる。 ・医療費についての理解を促す。 ・心身の不調を予防し健康増進を図る。	➔ ホームページ・広報誌・書籍・相談窓口・健診結果等を通じて、性別や年代に特化した健康課題や疾病、その予防法を周知し、ヘルスリテラシーを上げるとともに、継続したセルフケアを促す。

基本的な考え方（任意）

-

特定健診・特定保健指導の事業計画【第3期データヘルス計画書 STEP3から自動反映】

1 事業名	特定健診（被保険者）	対応する健康課題番号	No.1
-------	------------	------------	------

事業の概要

対象	対象事業所：全て、性別：男女、年齢：40～74、対象者分類：被保険者
方法	事業主が実施
体制	-

事業目標

特定健診実施により、生活習慣病・その他の疾患の早期発見							
評価指標	アウトカム指標	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度
特定健診受診率（被保険者）	特定健診受診率（被保険者）	96 %	96 %	97 %	97 %	98 %	98 %
	アウトプット指標	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度
	健診推進回数	2 回	2 回	2 回	2 回	2 回	2 回

実施計画

R6年度	R7年度	R8年度
事業主が実施	事業主が実施	事業主が実施
R9年度	R10年度	R11年度
事業主が実施	事業主が実施	事業主が実施

2 事業名 特定健診（任意継続・被扶養者）

対応する
健康課題番号

No.1



事業の概要

対象	対象事業所：全て、性別：男女、年齢：40～74、対象者分類：被扶養者/任意継続者
方法	集合健診の費用については健保負担 女性の希望者には乳がん・子宮がん健診を追加受診とする（一部負担有）
体制	健保連の集合契約の利用 健診案内のほかに受診勧奨を実施 かかりつけ病院への促進を実施

事業目標

特定健診実施により、生活習慣病・その他の疾患の早期発見							
アウトカム指標	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	
特定健診受診率（被扶養者）	30 %	35 %	40 %	50 %	60 %	70 %	
アウトプット指標	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	
健診推進回数	2 回	2 回	2 回	2 回	2 回	2 回	

実施計画

R6年度	R7年度	R8年度
通常の案内に加えて新規に40歳該当者への受診勧奨 パート先等の検診結果の提供依頼を強化 督促の実施	継続実施	継続実施
R9年度	R10年度	R11年度
継続実施	継続実施	継続実施

3 事業名 特定保健指導

対応する
健康課題番号

No.2



事業の概要

対象	対象事業所：全て、性別：男女、年齢：40～64、対象者分類：被保険者
方法	・積極的支援を優先して指導可能な日程を基に事業主にて人選をして保健指導を実施 ・WEB面談、アプリ使用
体制	外部委託にて実施、一部就業時間内にも実施

事業目標

特定保健指導実施率の向上・生活習慣病予防							
アウトカム指標	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	
特定保健指導対象者割合	26.0 %	24.0 %	22.0 %	20.0 %	19.0 %	18.0 %	
アウトプット指標	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	
特定保健指導実施率	35 %	40 %	45 %	50 %	55 %	60 %	

実施計画

R6年度	R7年度	R8年度
事業主を通じて参加依頼の実施 被保険者は職場（会議室）またはオンラインでの保健指導を実施	継続実施	継続実施
R9年度	R10年度	R11年度
継続実施	継続実施	継続実施

達成しようとする目標／特定健康診査等の対象者数								
			令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
特定健康診査実施率	計画値 ※1	全体	- / - = - %	- / - = - %	- / - = - %	- / - = - %	- / - = - %	- / - = - %
		被保険者	- / - = - %	- / - = - %	- / - = - %	- / - = - %	- / - = - %	- / - = - %
		被扶養者 ※3	- / - = - %	- / - = - %	- / - = - %	- / - = - %	- / - = - %	- / - = - %
	実績値 ※1	全体	- / - = - %	- / - = - %	- / - = - %	- / - = - %	- / - = - %	- / - = - %
		被保険者	- / - = - %	- / - = - %	- / - = - %	- / - = - %	- / - = - %	- / - = - %
		被扶養者 ※3	- / - = - %	- / - = - %	- / - = - %	- / - = - %	- / - = - %	- / - = - %
特定保健指導実施率	計画値 ※2	全体	- / - = - %	- / - = - %	- / - = - %	- / - = - %	- / - = - %	- / - = - %
		動機付け支援	- / - = - %	- / - = - %	- / - = - %	- / - = - %	- / - = - %	- / - = - %
		積極的支援	- / - = - %	- / - = - %	- / - = - %	- / - = - %	- / - = - %	- / - = - %
	実績値 ※2	全体	- / - = - %	- / - = - %	- / - = - %	- / - = - %	- / - = - %	- / - = - %
		動機付け支援	- / - = - %	- / - = - %	- / - = - %	- / - = - %	- / - = - %	- / - = - %
		積極的支援	- / - = - %	- / - = - %	- / - = - %	- / - = - %	- / - = - %	- / - = - %

※1) 特定健康診査の（実施者数）／（対象者数）

※2) 特定保健指導の（実施者数）／（対象者数）

※3) 特定健診の対象となる被扶養者数には、強制被扶養者、任意継続被扶養者、特例退職被扶養者、任意継続被保険者、特例退職被保険者を含めてください。

目標に対する考え方（任意）	
-	
特定健康診査等の実施方法	
-	
※特定健診・特定保健指導の事業計画の欄に、第3期データヘルス計画書STEP3 から自動反映されている場合は任意	
個人情報の保護	
-	
特定健康診査等実施計画の公表・周知	
-	
その他（特定健康診査等実施計画の評価及び見直しの内容等）	
-	